

富山地方最低賃金審議会

第1回 電気機械器具製造業最低賃金専門部会 議事要旨

開催日時	令和2年9月30日（水） 午前10時00分～午前11時00分		
出席状況	公益を代表する委員	出席 3人	定数 3人
	労働者を代表する委員	出席 3人	定数 3人
	使用者を代表する委員	出席 3人	定数 3人
主要議題	1. 専門部会部会長及び同代理の選出について 2. 専門部会運営規程について 3. 特定最低賃金審議運営事項について 4. 専門部会の審議日程について 5. 労働経済等関係指標について 6. 最低賃金に関する基礎調査結果について 7. 参考人の意見表明について 8. 労使各側の基本的主張について 9. 金額等審議		
議事要旨・議事録	<p>1. 部会長に柳原委員、部会長代理に高倉委員を選出した。</p> <p>2. 専門部会運営規程を原案どおり決定した。</p> <p>3. 特定最低賃金審議運営事項の伝達がなされた。</p> <p>4. 審議日程を原案どおり決定した。</p> <p>5. 労働経済等関係指標について、事務局から説明がなされた。</p> <p>6. 最低賃金に関する基礎調査結果について、事務局から説明がなされた。</p> <p>7. 参考人の意見聴取について、意見書の提出が行われなかったことを確認した。</p> <p>8. 労使各側の基本的主張がなされた。</p> <p>(1) 労働者側の主張</p> <p>新型コロナウイルスの悪影響は否定できないところであるが、悪化した経済状況を打破する手法としてデジタル化の推進等が打ち出されており、電気機械産業に求められる社会の期待は大きい。このような社会的期待に応えるには優秀な人材の確保が必要であり、そのためには特定最低賃金の引上げをはじめとした労働者の待遇改善が必須であると主張した。</p> <p>(2) 使用者側の主張</p> <p>コロナ禍の経済への悪影響はリーマンショック時を超えており戦後最大である。経済がコロナ禍前の状況に戻るには3年から5年を要するとの見解も出ており、経済状況は非常に悪い。このような状況では雇用の確保を優先すべきであり、特賃の引上げはできる限り抑えるべきであると主張した。</p> <p>9. 公益委員を中心に、労使双方から意見を聴取し調整を努めたが、意見に隔たりがあったため、次回改めて審議を行うこととなった。</p>		